

平成28年中

10年連続ワースト1位!!

住宅を対象とした 侵入盗の実態

愛知県版

実態編



1 愛知県の被害件数は全国ワースト1位

愛知県の住宅を対象とした侵入盗の件数は、年々減少傾向にあります。平成19年から平成28年まで10年連続「全国ワースト1位」です。

さらに、平成28年はワースト2位との差が約900件あり、全国的に見ましても突出した発生が続いています。

住宅を対象とした侵入盗

	空き巣	忍込み	居空き
4,154件	3,132件	835件	187件
前年比-15.2%	前年比-14.8%	前年比-16.6%	前年比-15.4%
全国ワースト1位	全国ワースト1位	全国ワースト2位	全国ワースト2位

住宅対象侵入盗：空き巣、忍込み、居空きの3つを指す
 ○空き巣…留守中の住居に侵入し、金品を盗む手口
 ○忍込み…夜間就寝中などに侵入して金品を盗む手口
 ○居空き…入浴中、食事中などのスキに侵入して金品を盗む手口

2 市区町村別認知件数ランキングと犯罪

1位「一宮市」、2位「豊田市」、3位「春日井市」
 あなたの住む街は？〔多発上位50市区町村(名古屋市を除く)〕

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
1位	一宮市	316	2.18
2位	豊田市	217	1.26
3位	春日井市	162	1.28
4位	西尾市	159	2.63
5位	緑区	130	1.34
6位	豊橋市	124	0.85
6位	岡崎市	124	0.82
8位	あま市	108	3.20
8位	稲沢市	108	2.13
10位	刈谷市	107	1.69
11位	中川区	105	1.08
12位	尾張旭市	92	2.85
13位	安城市	91	1.26

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
14位	清須市	89	3.22
14位	名東区	89	1.19
16位	日進市	84	2.41
17位	大府市	83	2.27
18位	中村区	81	1.20
19位	豊川市	80	1.15
20位	千種区	77	0.90
21位	小牧市	74	1.23
21位	西区	74	1.04
21位	天白区	74	0.98
24位	守山区	73	1.03
25位	瀬戸市	69	1.35
26位	北名古屋市	67	1.95

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
27位	北区	61	0.80
28位	蒲郡市	55	1.82
29位	昭和区	53	0.94
30位	江南市	50	1.33
30位	東海市	50	1.06
32位	知多市	47	1.40
33位	豊明市	46	1.64
34位	東郷町	43	2.67
34位	みよし市	43	1.87
34位	中区	43	0.78
34位	港区	43	0.69
38位	長久手市	42	1.64
39位	東浦町	41	2.19

順位	市区町村	世帯数	犯罪率
39位	南区	41	0.66
41位	愛西市	39	1.83
42位	瑞穂区	38	0.77
43位	弥富市	37	2.28
43位	津島市	37	1.54
45位	半田市	36	0.76
46位	蟹江町	35	2.29
46位	碧南市	35	1.29
48位	犬山市	31	1.08
48位	東区	31	0.74
50位	知立市	29	0.97

犯罪率：1,000世帯あたりの認知件数
 平成29年1月1日現在の世帯数をもとに算出

3 被害の実態

(1) 被害総額及び発生手口の割合

住宅対象侵入盗

	合計	1件当たり
被害総額	約37億6,352万円	約90万6,000円
うち現金被害	約13億4,550万円	約32万4,000円

被害総額は、約37億円余りと前年を下回ったものの、現金被害については、約13億円となり、前年と比較して約3億円の増加となりました。

1件当たりの現金被害額についても約32万4千円と約3割増となっています。

多額の現金は手元には置かず、自動車等の鍵も、玄関先等に置かないようにしましょう。

○現金以外の被害品ランキング

順位	現金以外の被害品	認知件数
1位	バッグ・財布類	1,077
2位	貴金属・宝石等	892
3位	カード類	773
4位	時計類	625
5位	預金通帳・預金証書	375
6位	身分証明書類	353
7位	有価証券類	270
8位	家電製品類	255
9位	娯楽用品類	177
10位	衣料品類	156

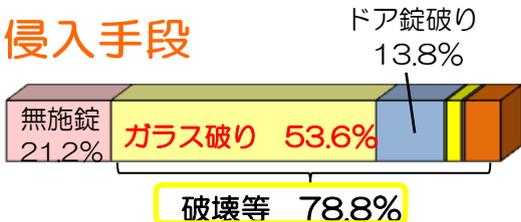
※ 被害品目が複数ある場合は、それぞれ計上しています。

(2) 空き巣と忍込み・居空きの実態

空き巣

- 前年に比べ認知件数は減少しましたが、未だ全国ワースト1位となっており、全国的に見ても突出した発生となっています。
- 愛知県の特徴として、ガラスやドア等の建物部品を破壊等して侵入する被害が多く、施錠だけでは侵入を防げない現状となっております。
- 夕方から夜にかけての時間帯は、電気のついていない家が留守であるとわかるため、狙われやすくなっていると思われます。

侵入手段



破壊等された侵入か所



侵入手段では、ガラス等を破壊等して侵入する手口が全体の約78.8%を占め、破壊等された建物部品は、窓が約73.9%ですが、勝手口等の割合が年々増加しています。

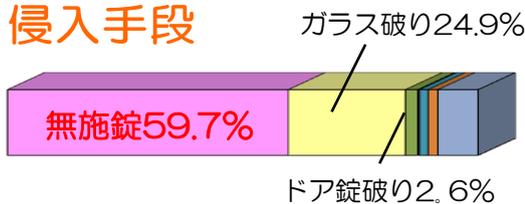
施錠を確実にし、CP建物部品や補助錠等で、建物部品の強化をしましょう。



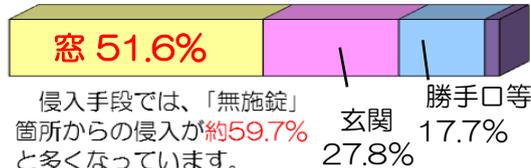
忍込み・居空き

- 前年に比べ「忍込み」「居空き」の認知件数は減少したものの、「忍込み」「居空き」ともに全国ワースト2位の多発手口となっています。
- 「忍込み」「居空き」共に、家人が在宅中に犯人が侵入するもので、侵入に気づいた場合に、強盗や殺人などの凶悪犯罪に発展する恐れがあるため非常に危険です。

侵入手段



入入口（無施錠）



侵入手段では、「無施錠」箇所からの侵入が約59.7%と多くなっています。

無施錠箇所からの入入口は、窓、玄関の順ですが、勝手口の無施錠スライド窓を開けて侵入される手口も発生しています。

不在の部屋の施錠や、就寝前の施錠はもちろん、在宅時においても施錠の習慣づけをしましょう。



1 防犯の4原則

犯罪を防止するための4つの原則、これは「時間・光・音・地域の目」です。この4原則に基づく対策を組み合わせることで、より大きな防犯効果が得られます。

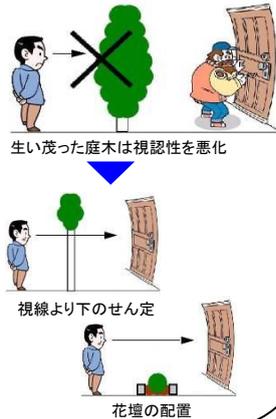
 <p>時間</p> <p>侵入までに時間のかかる建物部品を！</p> 	 <p>光</p> <p>家の周りを明るく！</p> 	 <p>音</p> <p>警報機、防犯砂利で周囲に侵入を知らせる！</p> 	 <p>地域の目</p> <p>住民同士の連携、不審者への声掛けを！</p> 
---	--	---	--

2 防犯環境設計

「防犯環境設計」とは、犯罪企図者に犯罪を「やりにくい」、「やめよう」と思わせる工夫をした建物や住環境の設計のことです。防犯環境設計には4つの基本的な原則（要素）があり、これらを組み合わせて導入することが重要です。

監視性の確保

- 庭木のせん定、花壇の配置、メッシュ柵の活用などにより、自然な監視性を確保する。
- センサーライト、門灯などを配置して夜間の見通しを確保する。

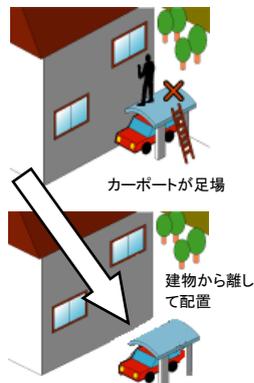


領域性の確保

- 住民同士のあいさつ運動などを展開し、不審者を寄せ付けけない環境を形成する。
- 地域のコミュニティを活性化し、地域全体の領域性を高める。



- カギ付の門扉を設置するなど、建物そのものに近づけさせない。
- 塀、カーポート、物置を建物から離して設置したり、エアコンの室外機を窓の下に設置しないなどし、高窓、2階への足場を利用させない。



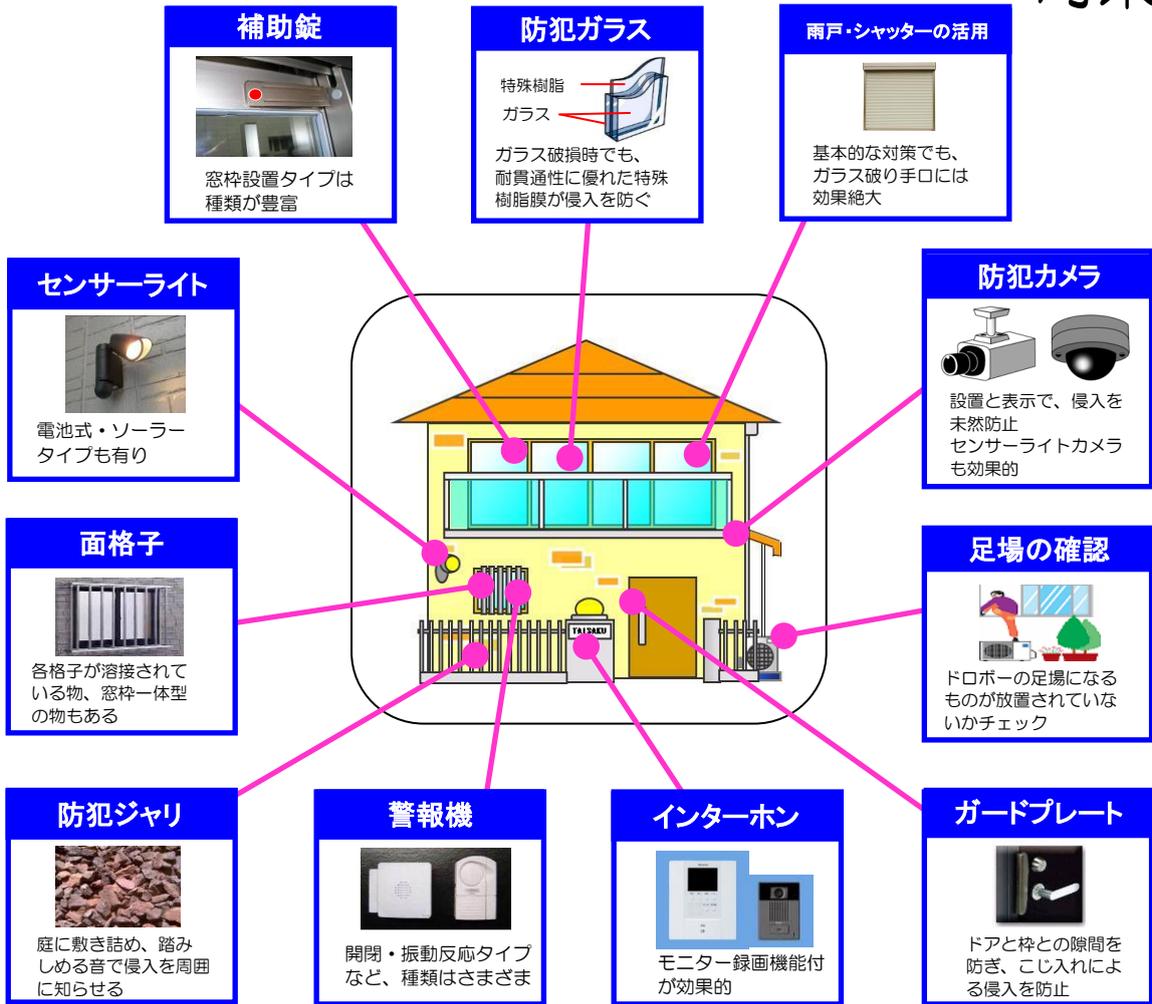
接近の制御



- 「CP建物部品」でドア、窓、面格子などを強化する。
- 補助錠、サムターンカバーなどで、窓、ドアの防犯性を補強する。

対象物の強化

3 具体的な防犯対策



ドロボウと闘う『CP建物部品』って何？



警察庁が国交省や経産省、さらに建物部品関連の民間5団体と共に設置した官民合同会議にて、ドアや窓等の各建物部品について耐性試験、検討を重ね、「侵入までに5分以上の時間を要する」等一定の防犯性能があると評価した建物部品を「防犯性の高い建物部品＝CP建物部品」として公表しました。 ※ CP (Crime Prevention) =防犯



侵入までに5分かかるとドロボウの約7割が犯行をあきらめるというデータがあります。

CPマークは、ドア、錠、ガラス、サッシ、シャッター等17種類3,200品目以上に使用されています。



★ 身近な犯罪情報、不審者情報は
メールマガジン「パトネットあいち」から
お住まいの地域で発生した犯罪や不審者の情報をタイムリーに
配信します。登録は右のQRコードから！！

